

久留米大学大学院医学研究科

修士課程

アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

本研究科修士課程はあらゆる学部で大学卒業者で、医学・医療に貢献することを目指す多様な学問的背景をもった人材を対象にしている。

広い視野に立った看護学、基礎医学、社会医学、分子生命科学およびバイオ統計学における研究能力及び高度の専門性が求められる

職業を担うための卓越した能力、教養、人間性を備えた人材を養成し輩出することを目的としているので以下のような人材を求めます。

- 1) 本課程修了後に医療現場における高度な専門職業人としての活躍を目指す人。
- 2) 本課程修了後に教育・研究者として更なる研鑽（博士課程への進学）を希望する人。
- 3) 国際社会に貢献する意欲のある人。
- 4) あらゆる学部の卒業者で保健・医療・福祉関連分野の業務経験者を歓迎する。
- 5) 学士以外にも医療・福祉系国家資格有資格者で医療・保健・福祉業務にすでに従事している社会人が働きながらスキルアップを目指し、業務と学修の両立を目指す意欲ある者を歓迎する。

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

修士課程は、医科学専攻（基礎医学群、社会医学群、分子生命科学群、バイオ統計学群）4学群及び看護学専攻（修士論文コース、専門職養成コース）2コースからなる。

- 1) 基礎科目として広範かつ体系的な医学知識を修得する。
- 2) 社会で活躍している国内外の優れた講師を招聘した特別講義を履修できる。
- 3) 1年次は志望する専攻科目（分野）の専門知識および最新情報を修得する科目を組合せて履修する。
- 4) 1～2年次にかけて指導教授からの研究指導を通じて研究題目の設定、研究計画書の策定、データ収集を行い、修士学位論文を作成する。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

【修士（医科学）】

修士課程では、2年以上在学し（長期履修学生制度該当者は3年間）、所定の単位を取得し、以下の要件を満たし、かつ学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格した者に「修士（医科学）」の学位を授与する。ただし、1年以上在学し研究業績を上げた者で所定の要件を満たした場合には、同学位を授与することがある。

（達成すべき要件）

- 1) 専攻分野の背景を理解し、知識を蓄積し、医学の発展に寄与できる研究能力の基盤を築く。
- 2) 人間の尊厳と権利を擁護し、医の倫理および研究倫理をもとに研究を遂行する能力を築く（eラーニングの受講）。
- 3) 国内外の学会で発表を経験し、発表能力および科学的議論を行う能力を養う（学会あるいは研究会・セミナーで発表と質疑応答を経験する）。
- 4) 習得した知識をもとに、研究計画の策定能力を養う（研究題目の設定、研究計画書の策定と提出を経験する）。

5) 地域さらには世界の医学の発展に貢献するための論文作成能力を養う（学位論文を作成できる）。

【修士（看護学）】

修士課程看護学専攻では、医学研究科の教育・研究上の目的に基づき、次のような能力を身につけ、修了に必要な単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査および最終試験に合格した者に「修士（看護学）」の学位を授与する。ただし、1年以上在学し研究業績を上げた者で所定の要件を満たした場合には、同学位を授与することがある。

（達成すべき要件）

- 1) 専攻分野における卓越した看護実践能力を有する。
- 2) 看護の質の改善、看護学の発展に寄与できる研究能力を有する。
- 3) 自律した専門職として、総合的な調整能力をもち多職種間連携を主導する能力を有する。
- 4) 高い倫理観をもち複雑な倫理的課題に対応できる能力を有する。
- 5) 高度な教育・研究・実践活動を通し、地域社会に貢献できる能力を有する。
- 6) 看護の現場を円滑に運営するための管理的役割と、看護学の発展を支える次世代を育てる教育力を有する。
- 7) グローバルな国際的視野から看護を考える能力を有する。